



公園へ行こう。

県立相模原公園 緑の相談所



県立相模原公園内のある「みどりの相談所」では、月曜日を除く毎日、無料の園芸相談に応じています。また、週末にはさまざまな園芸教室も開設されており、緑に関することなら何でもお気軽におたずねください。

相談の受付 9:30~12:00
13:00~16:30
休み 原則として月曜日
お問合せ 0427-77-2860

園芸教室

紙面の写真に写っている方は、公園内みどりの協会事務局まで、本紙持参の上おいでください。みどりの協会制作のオリジナル花の絵はがきを差し上げます。

「みどりの波を今、かながわから」相模原からの緑の発信をテーマに開催された第9回全国都市かながわフェア「グリーンウェイブ相模原92」から3年。市立相模原麻溝公園は今も変わらず多くの市民に親しまれています。季節を追いながら、さまざまな表情を見せてくれる木々や草花たち。そして人々は、木陰で、芝生で、それぞれに思い思いの時を過ごしています。またフィールドアスレチック広場やふれあい動物広場、子ども広場など、遊び場にはいつも子どもたちの歓声が響きわたっています。私たちにとって公園も豊かな緑も、暮らしに潤いを与えてくれるかけがえのないものです。この市民の「財産」をいっつも大切に守っていききたいものです。

相模原麻溝公園

オータムフェア

10/14±.15日



たくさんの人に緑に親んでもらおうと、公園ではさまざまなイベントを開催しています。今回のオータムフェアでは、とくに、チューリップの球根をいただいたことを機会に交流の始まった「新潟県京ヶ瀬村」からの特産物コーナーも設け、お餅や新米コシヒカリ、チューリップの球根などを無料配布します。そのほかにも楽しい催しがいっぱい。秋の週末のひととき、公園に足を運んでみませんか。

京ヶ瀬村特産物展示・即売
京ヶ瀬村の各種特産物の無料配布及び展示即売
15日(日)10:00~15:00 水の広場
秋の動物フェスティバル
ポニーの乗馬、人形劇など
15日(日)9:30~15:30 ふれあい動物広場
オータムコンサート
相模原音楽家連盟
14日(土)1回目2:00~2:30 2回目3:00~3:30 ふれあいドーム
竹トンボ講習会・竹馬試乗会
14日(土)・15日(日)9:30~15:30 みどりの広場

植木・野菜等の展示即売
14日(土)・15日(日)9:30~15:30 水の広場
秋の公園スケッチ会・展示会
小学生以下100名(先着順)
14日(土)9:30~3:30<雨天の場合は15日> スケッチ会場
作品展示は14日(土)~22日(日)、管理事務所多目的ホールにて
秋蒔き種の無料配布
14日(土)・15日(日)9:30~先着1500名 管理事務所前
お問合せは(財)相模原市みどりの協会 0427-77-2860へ。

GREEN TALK

グリーントーク●いま緑を語ろう

「第9回全国都市緑化かながわフェア グリーンウエーブ相模原'92」が盛況のうちに幕を閉じてから、はや三年が経ちました。このフェアは、隣接する県立相模原公園と市立相模原麻溝公園という二つの大きな公園を会場に行われたものです。これを機に建設され、現在も引き続き市民のオアシスとして開館中の施設に「かながわグリーンハウス」があります。今回は、同館の館長である塚本正隆さんにお話を伺いました。



アソウカイ

珍しい木や花で

「驚かせたい。」

グリーンウエーブは大忙し



塚本館長



ミツキーマウスノキ

一面の花に包まれて開催された緑化フェアは、来場者が百八万人にも達しました。その陰にはいろいろな苦労もあつたんです。温室内に蝶を放すことになったんですが、千五百匹を五回に分けて飛ばしましたが、一斉に蝶が乱舞する姿はそれは見事でした。しかし、蝶の放し飼いとすると植物に殺虫剤を散布することはできません。蝶が死んでしまうからです。そのためたくさんのお虫が発生したので、植物への害がでないように、開館前に職員を総動員して虫を一匹一匹手で取りました。その数は三百匹にものぼつたでしょうか。その他、お客さんからの質問や問い合わせなどもたくさんあり、職員一同大忙しでした。会期中のエピソードも数知れませんが、無事に五十二日間のフェアを終えることができて、本当によかつたと思います。



自宅の庭も研究用の花でいっぱい

とにかく花が好きだったんですね。鳥取大学の農学部で花や果実の勉強をしていたんですが、とくに花には関心が高く、宝塚の農家へ研修にも行きました。

卒業後、神奈川県農政部に勤務し、農家の技術指導や農業大学校で農家の後継者の育成指導に携わっていました。そんな中で花の技術指導も行ったんですが、自宅の庭にもさまざまな種類の花を植えては性質などを勉強しました。その後このような花や緑化樹木との縁もありまして、かながわグリーンハウスに着任しました。

館内にあるのはほとんど熱帯植物なんです。が、私自身、植物栽培の指導はしていても熱帯植物は初めての経験でした。毎晩家に帰っては植物辞典を引っ張りだして、原産地から栽培法、沿革などを全部調べて勉強しました。

県外に私用で出掛ける機会があれば、遠回りでも各地の植物園や緑化フェアなどにも行きました。その場所その場所それぞれやり方や工夫があるんですね。花の咲かない木はどうすればよいかなど、教えてもらうことも多く勉強になりました。

驚きと意外性が公園には必要

グリーンハウスは県内でも有数の規模を誇る植物館です。「温室は暑い」と思っている人が多いのか他の季節に比べると夏の来館者が

かながわグリーンハウス
開館時間
午前9時～午後4時30分(ただし入館は午後4時まで)
休館日
毎週月曜日(祝祭日の場合は開館) 祝祭日の翌日(年末年始(12月28日、1月4日))
入場料
20歳以上(学生を除く) 200円
20歳未満及び小学生 150円
60歳以上・高校生以下 無料
20人以上は団体割引があります。
所在地
相模原市麻溝台1-8-8 9番地
問合せ
TEL 0427-78-6006

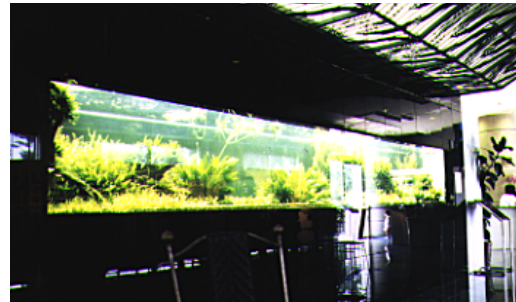
が少ないのですが、温室は別としてアトリウムは常に二十度～二十二度を保っていて、気温が高くなれば冷房で二十四度まで下げているから決して暑くないんですよ。そして約三千平方メートルの館内には約百五十種類、一万株の植物が植えられており、日本最大級の水草のアクアリウムもあります。

私はいつも来てくれるお客さんを「ワァッ！」と驚かせたいと思ってるんですよ。確かに、そのほとんどが珍しい熱帯、亜熱帯植物なんです。ヤシやゴム、ハイビスカスなど一般的な木や花を植えていますから、見たこともないような木や花を植えてびっくりさせたい。植物園の魅力はそこにあると思うんです、普段見ることができないものに出会う、という。

ここにはチューインガムノキやミツキーマウスノキ、パンノキ、アソウカイといった面白い名前のも木もあります。サボテンの花は花火に見立てたものもあります。入り口のホールは季節のイメージで飾っていて十一月からはクリスマス風に仕上げる予定です。

またこれは小学生からもらったアイデアなんです。子どもらしい素朴な疑問で「グリーンハウスのバナナが黄色くなったらどうするのかな」と、来館後の作文に書かれていたもので、以後、バナナが熟したら日曜日に小学生以下の子どもたちに先着順で配布することにしたんです。私たちが普段食べているものと違って甘酸っぱいんですよ。パイアやレモンも熟した時にスライスして出すこともあります。

アクアリウム



アソウカイ(亜阿相界) アソウ(亜)とアソウ(阿)の境マタカスルが原産地であることから名がついた。
ミツキーマウスノキ
赤い花床に黒い実をつけ、それがミツキーマウスの顔に似ていることからこの名がついた。



花火に見立てたサポテン

公園や温室には、驚きや意外性が必要だと思っんです。そのためにいつも何か新しいものはないかと「発見」に努めています。

緑を大切に守っていかなくては

一階のアクアリウム前のフロアには市民の方々の植物と関わりのあるいろいろな作品を展示しています。写真や絵画、押し花とさまざまですが、お客さんにも喜んでもらえているようです。

地域はもちろん、広く県外の方たちにも憩いの場、楽しみ場として公園を利用して欲しいと思っっています。私たちもできるだけ公園をきれいにして皆さんをお迎えするよう心掛けていきます。利用者の方もマナーを守って、いい時間を過ごしていただきたいですね。

街から緑が少なくなっていくのは淋しいことです。相模原市は三十年前と比べると人口は約五倍になりましたが、農地の半分以上は住宅や工場用地に姿を変えてしまいました。緑地や山林、雑木林なども減少しています。これからは一人一人が緑を守るために心掛ける必要があります。私も公園という場を通して緑の大切さを皆さんと一緒に学んでいきたいと思っっています。

塚本 正隆(つかもと まさたか)

1933年福岡県生まれ。鳥取大学農学部卒。神奈川県農政部に入庁し、県庁、農業大学校、農業改良普及所で技術指導に携わつた後、(財)神奈川県公園協会に勤務、1993年「かながわグリーンハウス」館長に就任。園芸教室等で講師も務めている。